

平成二十九年 東京藝術大学 大学院音楽研究科 (博士) 入学試験 (問題・解答) 用紙

実施日時: 平成二十九年二月三日 (金) 邦楽十三時〇〇分〜十六時〇〇分 (三時間)

応用・音響・芸環十三時〇〇分〜十四時三〇分 (一時間三〇分)

科 目	受験生記入欄		(ア)	(イ)
国語古文 (邦楽・応用・音響・芸環)	科 声種	受験番号		
二 枚のうち 一枚目	専攻 楽器	番		

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権法上の問題から掲載することができません。

(棕梨一雪『古今大著聞集』卷三「時世粧小歌、及喧嘩事」〔朝倉治彦・大久保順子『假名草子集成第二十七卷』所収。東京堂出版、二〇〇〇年七月、二六四頁〜二六五頁。〕なお、改行・句読点・括弧・文字遣等を適宜改変。)

問一 全文をわかりやすく現代語に訳しなさい。特に文中の語彙のうち、現代の用いられ方と異なるものには注意すること。

問二 文中の流行歌謡を用いた芸能・文芸作品を一つ挙げなさい。

第二問 次の文章をわかりやすく現代語に訳しなさい。

この部分につきましては、著作権法上の問題から掲載することができません。

(信夫恕軒『恕軒遺稿』「続不亦快哉」より〔『新日本古典文学大系明治編2』漢詩文集』所収。宮崎修多校注。岩波書店、二〇〇四年三月、三五四頁。〕)